

# 【宇部市：情－2】宇部市公共下水道（西部処理区）コンセッション推進に向けた情報整備調査 （実施主体：山口県宇部市）

【事業分野：下水道】【対象施設：下水処理場、ポンプ場】【事業手法：コンセッション方式】

## 調査のポイント

- 宇部市では、公共下水道事業3処理区のうち1処理区(汚水のみ、管路施設を除く)を対象に官民連携事業の導入可能性調査について検討している。
- 下水道事業の一部をコンセッションとする場合において、利用料金等の設定にあたり、事業スキームに相当する運営経費を配分し財務資料を整理することが必要である。

## 調査対象地及び施設の概要

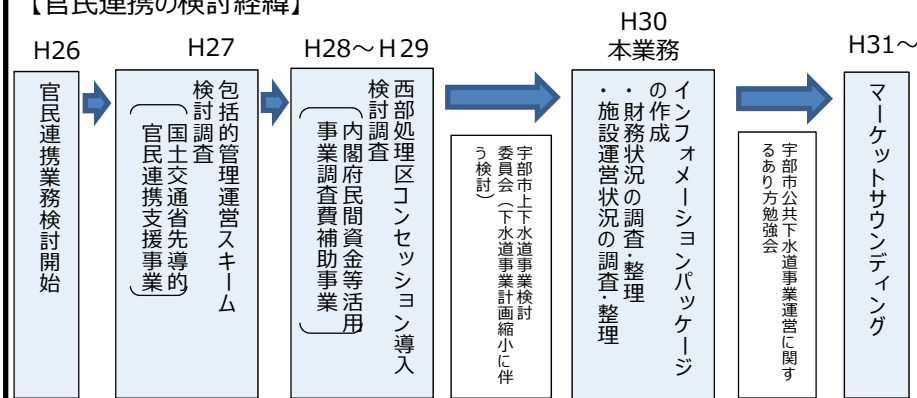
- 対象処理区：西部処理区（1処理場、6ポンプ場（管渠は除く））
- 整備面積：1,371ha(H29年度末)
- 整備人口：54,160人(H29年度末)

## 事業発案に至った経緯

【本市の課題】

- 人材・組織面（ヒト）：維持管理を実施の現業職員が今後10年で半減
- 資産・業務面（モノ）：供用開始から50年以上経過により改築需要増大
- 財政面（カネ）：資本費支出の増大や人口減少による使用料収入減少

【官民連携の検討経緯】



## 調査内容・整備情報等

- 財務状況の調査・整理
  - ・西部処理区及びコンセッション対象の財務書類の作成（損益計算書P/L、貸借対照表B/S、キャッシュフロー計算書C/F）作成
- 施設運営状況の調査・整理
  - ・固定資産台帳と現状の整合確認、各種図面等の整理

## 得られた成果

- 本業務では、コンセッション事業に関する財務情報や施設情報の整理を行うことで、以下の成果が得られた。
  - ・コンセッション事業範囲を対象とした財務書類の作成
  - ・マーケットサウンディングにおける詳細な事業者提示資料の作成
  - ・利用料金設定のための維持管理費等実績の整理

## 今後の方向性

- 本業務で整理された西部処理区及びコンセッション対象事業における財務情報に基づき、利用料金設定について市内部で検討を行う。
- 宇部市が主体となり官民一体で実施した宇部市公共下水道事業運営に関するあり方勉強会による議論内容と意見等を整理する。
- 官民連携事業に向けマーケットサウンディングを行い、詳細スキームや事業手法について検討を行う。

【事業スケジュール】（予定）

- ・2019年度（平成31年度）：マーケットサウンディング実施
- ・2020年度（平成32年度）：官民連携手法の決定
- ・2023年度（平成35年度）：事業開始